



新たな幕開けの年に！

▼令和3年1月7日（木）3学期の始業式行われました。この中で、1年生の赤池音さん、2年生の寺澤将二さん、3年生の鈴木美蘭さんが、各学年を代表して冬休みの反省と新年を迎えての抱負を述べました。▼どの生徒も、冬休み中は、課題を中心にしっかりと復習ができたようです。また、進級・進学に向け、苦手教科の克服に頑張りたいとの決意や仲間と協力して楽しく充実した日々を過ごしたいとの思いが発表されました。▼また、私からは次のような話をしました。本日より三学期が始まります。新しい年、新しい学期を迎え「よし、がんばるぞ」という気持ちでこの場に臨んでいることと思います。

▼今年2021年の干支は丑年。正しくは

かのとうし
「辛丑」です。干支は

十干と十二支の組み合わせで、甲子から始まり全部で60ある中の38番目の年回りになります。



す。ちなみに、60歳に還暦の祝いをする風習がありますが、干支が一還りしたお祝いになります。▼「辛」は植物でいえば、草木が枯れ、新しくなろうとする状態、「丑」は種から芽を出そうとする状態を表すとされています。つまり、転換期であり、出発の兆しが感じられる年回りということでしょう。ちなみに、この前の辛丑の1961年には、ソ連の「地球は青かった」で有名なガガーリンが宇宙旅行に成功した年であり、宇宙開発の幕開けとなった年です。▼今年は、人類の様々な知恵と創造により、感染症の拡大による「つらい・からい」から一刻も早く脱し、みんなが再び豊かで幸せな生活を営むことのできる幕開けの年になることを願います。（中略）▼最後に、三学期は、まとめの学期であると同時に、1年生は2年生へ、2年生は最上学年である3年生への進級・3年生は進学といった新たなステージへのスタートの学期でもあります。一日一日の積み重ねを大切にして、自分らしく過ごして欲しいと思います。

校内百人一首大会を開催

▼昨日、首都圏1都3県を対象に再び緊急事態宣言が発令されました。山梨県下においても感染ペースが加速し、感染者数が650人を超えるなど予断を許さない状況にあります。▼本校としては、換気、マスク着用、三密を避けるといった感染予防対策を引き続き徹底するとともに、様々な工夫をする中で、年度当初に計画した行事についてはできるだけ実施することで、子どもたちの豊かな成長に繋がりたいと考えています。▼

そして、今回、日本の伝統的な文化への理解を深めることを目的に「校内百人一首大会」を8日に実施しました。本来であれば、両者向き合って対戦形式で行うのですが、今年にはコロナ対策として、生徒一人一人に1セットの札を用意し、読み上げ後10秒間で何枚の札をとるかという個人戦形式で行いました。▼生徒たちは、国語の授業や冬休み中に特訓した成果を発揮し、真剣に望んでいました。この結果、読み上げた70枚中、68枚をとった遠藤茉凜さんが優勝、66枚をとった中山太希さんが準優勝しました。みんな、よく頑張りました。



書き初めで3学期スタート

▼心を落ち着けて物事に取り組む姿勢を育むことを目的に、7日に「書き初め大会」を実施しました。1時間ほどでしたが、各学年とも国語の授業や冬休みの課題として取り組んできた成果を発揮し、集中して取り組む姿が見られました。書き初めで、全校そろって、素晴らしいスタートを切ることができました。

